

町立図書館のおすすめ本コーナー



書庫を建てる: 1万冊の本を取める狭小住宅プロジェクト
松原 隆一郎 (著)、堀部 安嗣 (著) 新潮社

大学教授の松原氏は両親の他界で巨大な仏壇を引き取ることになる。それを機に縁遠かった実家の歴史を調べ、一族の象徴である仏壇と自分の本のための建物を作ることを決意する。たった8坪の書庫に1万冊の本と仏壇。この難題に新鋭建築家堀部氏が挑み、奇想天外で美しい書庫が完成する。建築家と依頼主の双方から建物に対する思いが作品中で語られる。



ゴナンとかいぶつ (モンゴルの昔話より)

イチンノロブ・ガンバートル文、
バーサンスレン・ボロルマー絵、津田 紀子訳
偕成社 読み聞かせ時間：10分

勇敢な男の子ゴナンは自分が住む村を怪物マンガスに襲われ、白い馬と共にやつつけに行く。

教育委員会からのお知らせ

町民大学

— 下諏訪を学ぶ ⑤ — 「メンデル講演会」

日 時：11月22日(土) 午後1時30分～3時

会 場：文化センター 集会室 ※当日受付可(受講料100円)

①演題：「メンデルブドウは日本へ来てから100年を迎えた！」

講師：長田 敏行 (法政大学生命科学部教授・東京大学名誉教授)

②演題：「放射線被ばく事故と染色体異常」

講師：数藤 由美子 (放射線医学総合研究所・緊急被ばく医療センター・生物線量評価室長)

☎28-0002 (生涯学習係)

十一 GENR

天高く馬肥ゆる秋。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋……そして季節の風物詩である大切なイベント「七五三」。

我が家では、ちょうど一年前、七歳になる次女の七五三のお祝いをしました。

七五三の由来を調べてみると、乳幼児の死亡率が高かった昔は七歳までの子どもは神の子とされ、七歳になって初めて社会の一員として認められたそうです。「髪置き」「袴着」「帯解き」の儀式が明治時代に現代の七五三として定着したとのこと。

娘は普段めつたに着る機会のない着物を着させてもらって、お姫様にでもなったかのように大はしやぎ。これまで大きな病気や怪我もなく毎日元気に育ってくれていることを感謝し、家族みんなでこれからの娘の成長を願った一日でした。

これから娘たちがどのように成長していくのか楽しみです。
(御子柴友香)



ホワイトキャンバス
White Canvasができるまで

真っ白いキャンバスに描く
新たなハーモニー

責任者：篠遠早紀 副責任者：両角彩由季 名取ともよ

「White Canvas」は、中学生が立ち上げた下諏訪町の中学生合唱団です。私たちは小学生の時、学校の合唱団に入っていて、これからも合唱を続けていこうと思っていました。しかし、下諏訪町の2つの中学校には、合唱部がありませんでした。そこで、私たちは「下諏訪町に中学生の“歌いたい”という気持ちに応えられるような合唱団を作りたい。また、それを未来への足がかりにしたい！」と考えました。この合唱団には、私たちの真剣で、熱い思いが詰まっています。多くの方々のご協力を得て、ゼロから作り上げてきたからこそ、歌えることに対しての幸せと喜びを感じています。

現在は、合唱曲はもちろん、小松チヒロ先生の専門であるゴスペル曲も練習しており、みんなで楽しく歌っています。

メンバーの中には、吹奏楽部や運動部との両立をしている人もいます。男子メンバーや初心者も大歓迎です。興味がある人はぜひ見学に来てください！

「公民館講座」開講までの経過

2013年

6月・小松チヒロ先生に講師を依頼

7月・公民館担当の方と話し合い

チラシを配布

8月・夏休み合唱講座スタート
1回2時間×6回
最終回はミニコンサート

10月・社会教育団体「White Canvas」
として活動開始



【White Canvasの紹介】

人数：現在は8名(中学生4名、高校生4名)
会員資格：下諏訪町内在住の中学生
(OB・OGに限り高校生も含む)
講師：小松チヒロ先生
練習日：第1月曜日、第3水曜日(原則として)
(水曜日が5回ある月は、第4水曜日)
時間：午後5時～午後6時半
場所：下諏訪町総合文化センター 音楽室
会費：1,000円/月額

<問い合わせ先> 下諏訪町公民館 28-0002